

外交アネクドート 第2回

「アネクドート anecdote」とは、奇聞・逸事を意味します。
この連載では外交にまつわる海外の小話を紹介します。



在米ジャーナリスト **高濱 賛**
時事通信社外信部 **城山 英巳**

わたし、できると思って
いたんだけど

Jimmy Fallon: "Obama is publishing a children's book with pictures by the same guy who illustrated 'The Little Engine That Could.' Obama's book is a little different, though. Instead of saying, 'I think I can, I think I can' the main character says, 'I thought I could, I thought I could.'"

「オバマ大統領が子ども向けの本を出すね。本の挿絵は、『なんでもできる小さな機関車』の絵を描いた画家だ。ところがちよつと違うのは、機関車の本では、主人公の機関車は『わたし、できると思うわ』と言っているのに、オバマの本では『わたし、できると思っていたんだけど』と、つぶやいているんだ」(ジミー・ファロン氏の政治風刺漫談「NBCテレビの「レイト・ナイト」より）
すでに『The Audacity of Hope』などでミリオンセラー作家にもなっているオバマ大統領が、中間選挙の2週間後、11月16日に子ども向けの絵本『Of Thee I Sing: A Letter to My Daughters』(われ、なんじに歌わん：娘たちへの1通の手紙)を出版する。タイトルはG・ガーシュインの代表的なミュージカルから借用

したようだが、内容はワシントン初代大統領や、野球のジャッキー・ロビンソンなど13人の偉人を取り上げ、アメリカ合衆国の理想と自由・独立・団結をうたい上げたもの。挿絵は、数々の賞に輝く童話画家のローレン・ロング。アメリカ人なら誰でもおやすみ前のベッドで母親に読んでもらったことがある『The Little Engine That Could』の挿絵を描いている。2004年にはマドンナの書いた童話『Mr. Peabody's Apples』の挿絵も担当した。

厳しい政局運営を迫られているオバマ大統領がなぜこの時期に絵本を出すのか。政界雀はいろいろなさえずっているが、出版元によると、この本は2009年1月の大統領就任前に書かれていたという。初版はなんと50万部刷る。ベストセラー間違

いなしと踏んでいる。

『小さな機関車』では主人公の女の子の機関車がたくさんの動物たちを乗せて急な勾配を「I think I can」と言いながら駆け上がるのだが、「Yes We Can」を合言葉に大統領の座を勝ち取ったオバマ大統領の方は、本の発売時には与党民主党が下院を共和党に明け渡して「あれもできない」「これもできない」と嘆くことになるのかどうか。（たかはまたとう）

金日成主席が

現世にのみがえったら!?

北朝鮮建国の父・金日成主席はあの世で、自分が最高権力にあった1966年以来の労働党代表者会が開かれると聞き、居ても立ってもいられなくなり、現世に舞い戻った。平壤に戻る前、「血で結ばれた友

誼」の関係にある中国に立ち寄ろうと北京を訪れ、胡錦濤総書記と会見。その発展に驚き、こう語った。「社会主義の次に資本主義の段階が来るなんて思いもよらなかった。マルクスより鄧小平さんの方が正しかった」。胡は金に「これが中国の特色ある社会主義です」と胸を張った。

金日成は温家宝首相とも会った。温はこう持ち掛けた。「最近も息子の金正日総書記が北京に来たばかりですよ。支援がほしい、としきりに言うので、『北朝鮮も中国式の改革・開放を取り入れるべきです』と促しました。平壤に行ったら、息子さんや孫の正恩さんにも言い聞かせてください」

金はうなった。「嘆かわしい。私の時代は世界一だった。なぜ北朝鮮は中国に次いで2位になったんだ」

対外開放せず、「秘密国家」体制を続ける北朝鮮は、今も昔も国際社会の中での自国の位置付けを正しく認識していないことを表す「外交ジョーク」だ。国民がじり貧にあっても、金日成生誕100周年の2012年に「強盛大国の大門を開く」と虚勢を張っている。

代表者会は9月28日、金総書記の3男正恩氏を後継者として位置付けた。結局は「血統」を通じてでしか政権の正統性を誇示できない。金日成は「やはり金一族でないと北朝鮮を統治できない」と喜んだのだろうか。あるいは、昔以上に深刻化する北朝鮮の窮状を目の当たりにして、息子や孫に「私の作った国はこのままでは崩壊してしまうじゃないか」と、中国の助言を聞くように厳命するのだろうか。（しろやまひでみ）